

けいえすぴい通信

VOL.6 平成24年6月発行号

発行元: 有限会社ケー・エス・ピー 〒463-0070 愛知県名古屋市守山区新守山 2108 番地 (TEL) 052-791-8450 (FAX) 052-791-8453
E-mail: info@ksp-japan.com HP: (貼れルーヤ) http://haru1616.jp/ (看板) www.ksp-japan.com

----- 今回の特集記事 -----

名古屋市守山区 DOG DUCCA さま 看板・野立て看板制作

みなさん、こんにちは。いつも「けいえすぴい通信」を読んでいただき、ありがとうございます。

さて、今回は、名古屋市守山区にあるわんわん保育園「DOG DUCCA (ドッグ デュッカ)」さまをご紹介します。
愛犬のしつけに悩むお客さまのペットはもちろん、さまざまな理由で飼い主をなくした犬たちを預かり、しつけやトレーニングを行っている「DOG DUCCA」さん。その一方で、大切な家族の一員として彼らを受け入れてくれる里親探しにも毎日奮闘されています (<http://www.dogduca.shop-site.jp/>)。

「DOG DUCCA」さんに救われたワンちゃんたちは、スタッフのみなさんから愛情たっぷり育てられているせいか、元気いっぱい！ 実際取材にお邪魔したときも、かわいいワンコたちが、一斉にお出迎えしてくれました^^

いつものように、看板制作の依頼をいただいた経緯から伺うことになった今回の取材。でも、まあい腫と愛くるしいしぐさで駆け寄ってくるワンちゃんたちに囲まれていると、いつしか話題は動物たちの話へ・・・。

「犬の気持ちを理解するのは、人の気持ちを理解するのとまったく同じなんです。」そう語る園長(通称BOSS)の高橋さん。「僕は、犬の心理学や行動学を学んだので、犬の気持ちがとてもわかる。彼らの気持ちがわかるからこそ、大事なのは、彼らだけをしつけるのではなく、飼い主さんも一緒に学んでもらうこと。飼い主が変わると、彼らも変わる。仕事を通して、そういう経験を何度もしてきましたから、自信を持ってそう言えるんです」※以下「」は、高橋さん。

なるほど。相手じゃなくて、自分を変えるかぁ・・・。高橋さんの情熱にすっかり聞き入ってしまい、本来の目的を忘れてしまった私・・・。あ、まずい、今仕事だった(焦) あわてて取材の続きを伺うと、高橋さんからこんなお言葉を頂きました。

「去年、強風で看板が外れてしまったとき、ケー・エス・ピーさんに電話をしたらすぐに駆けつけてくれたんですよ。あとあと調べたら、看板が外れてしまった原因は他にあったんですけど、それでもケー・エス・ピーさんが快く対応してくれたので助かりましたね。そのときふと思ったんですけど、ケー・エス・ピーさんって、その時に限らず、地域のイベントでも率先してテキパキ動いているし、スタッフ一人ひとりが自分で考えて行動してるって感じがして、その仕事ぶりが見ていて気持ちいいんですよ。」

実際、自主性を意識している私たち。仕事はもちろん、普段の何気ない行動も見てくださったなんて、行動学を学んだ高橋さんだからこそ気づかれた社員の内なる部分かも。影でコツコツがんばるスタッフみんなにとって、励みになるお言葉です^^

「やっぱり何かあったときは、ケー・エス・ピーさんをお願いしようと思いますね。実際野立ての看板を作るときも、普通はその土地の管理業者さんに頼むのに、わざわざケー・エス・ピーさんをお願いしましたしね(笑)」



弊社で作らせていただいた看板。ちなみに『DUCCA』は高橋さんの愛犬の名前だそうです。



園長の高橋さん。看板をバックに園児のワンちゃん2匹と記念撮影。